

札幌市立真駒内中学校の取組

1 道徳科の指導について

・授業づくりのポイント

- ① 「中心発問(価値理解)」
- ② 「自己理解」を問う発問
- ③ 「振り返り(まとめ)」の工夫

①「中心発問(価値理解)」について

生徒に一番深く考えさせたい授業の山場となる場面が「中心発問」である。

→主人公の行為や意識が変化したところが多い。

〈中心発問・留意点〉

- ① 「中心発問」が本時の「ねらい」や「テーマ」と一致しているか。
- ② 教師の期待する答えではなく、プラス・マイナス両方の「予想される答え」を考える。



②「自己理解」を問う発問について

子どもたちの思考をまとめにつなげるために、学びのきっかけとなる問いかけが課題となる。道徳の時間においては、「導入」において、主題に対する生徒の興味・関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の自覚に向けて動機付けを図るよう工夫に努める。

【工夫の手立て】

- ・生活経験の喚起(補充)
- ・調査結果(アンケート)、絵、写真、実物の提示など。

(発問例)

- ・最近〇〇したことある？
 - ・今まで〇〇してことはありますか？
 - その時、どんな気持ちになりましたか？
- ※良い答えのみを言う傾向がある。



③「振り返り(まとめ)」の工夫について

終末(冒頭)に、子どもが学習した内容を振り返る機会を設けることにより、子どもの学びの自覚や学習内容の確実な定着が図られ、思考力・判断力・表現力の育成につなげる手立てとする。道徳の時間においては、ねらいの根底にある道徳的価値の対する思いや考えをまとめたり温めたりして、今後の発展につなげたい。

【工夫の手立て】

□表現活動の工夫

- ・実際の場面の追体験など。

□説話の工夫

- ・教師の体験談 ・ 日常の生活の問題

□私たちの道徳の活用

◆留意点◆

「望ましい価値観の押しつけ」や「望ましい行為の決意表明」を求めない。



◇道徳ワークシート（振り返り表）の活用

道徳的価値に関わる多様な感じ方や考え方を知り、ねらいの根底にある道徳的価値を視点に自分自身を振り返るために、道徳ワークシート(振り返り表)を活用する。→共通のワークシートを使用(東書のワークシートも可)

今回の授業を終えて	とも ←	ふう	→ ぜん	ぜん
① 自分と登場人物を比べたり、重ねたりして考えることができたか (自分自身)	5	4	3	2 1
③ これまでの自分を振り返り、考えを深めることができたか (自分自身)	5	4	3	2 1
④ 他の人の思いや考えを聞いて、自分の考えを広げたり深めることができたか (多面的・多角的)	5	4	3	2 1
⑤ これからの自己の生き方について考えを深めることができたか (道徳的価値理解)	5	4	3	2 1
⑥ 教材資料は心に響いたか (授業のねらいの達成度)	5	4	3	2 1

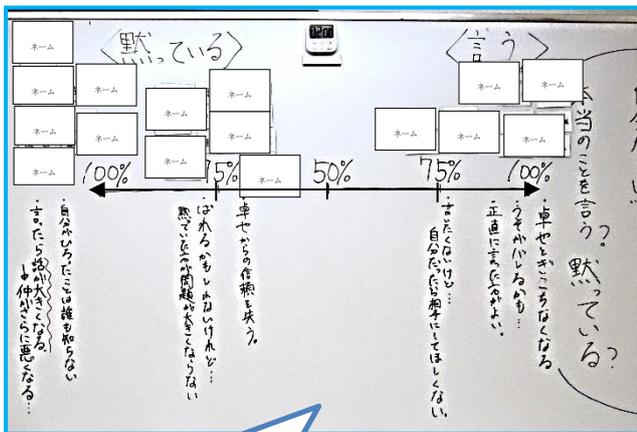
今日の授業で (内容項目) について考えたことを書きましょう。

() 年 () 組 () 番 ()

分析表からその生徒の豊かな学びができた授業に目星をつけ、保存したワークシート(ポートフォリオ評価)を確認します(分析表の詳細は、後述)。
その中の記述の中で、その生徒が大切にしたいことを取り上げ、励ます評価をする。

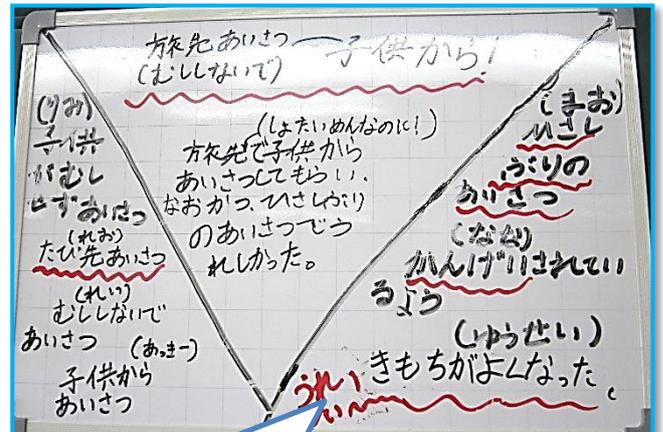
・多様な学習展開

①板書を生かす工夫について



「ネームプレート」を活用し、
思考の変化を「可視化」

②ミニホワイトボードの活用について



「ミニホワイトボード」を活用し、
意見の「見える化」

2 道徳科の評価について

・評価の工夫と留意点

①評価に生かす情報の収集

【毎時の情報を集める方法】

- ①ワークシート
- ②子どもの発言などの記録
(板書の写し撮り、座席表に発言メモなど)
- ③子どもの自己評価(振り返り表や分析表の活用)
- ④他の観察者の評価(TT)

【評価情報の積み上げ】

- ①ワークシートファイル(毎回確実に保管させる)
- ②分析表

↓
ポートフォリオ

※これらの中で、実情にあったものを生かす。

※ワークシートによる見取り

ワークシートにコメントや2色のラインを引いて見取る。→返却

授業者が、蛍光ペンでラインを引く…

- ①「自己を見つめている」箇所→赤色
- ②「物事を多面的・多角的に考えている」箇所→青色

〈振り返り表・例〉

今回の授業を終えて		5	4	3	2	1
①	共感・感動することがあったか (道徳的心情)	5	4	3	2	1
②	深く考えることができたか (道徳的価値理解)	5	4	3	2	1
③	自分のこれからの考え方に影響があったか (道徳的判断)	5	4	3	2	1
④	考えたことを大切にしようと思えたか (道徳的実践意欲と態度)	5	4	3	2	1
⑤	教材資料は心に留めたか (授業の学びの達成度)	5	4	3	2	1

今日の授業で〈国際理解〉について考えたことを書きましょう。
 世界にはまた戦争や貧困で苦しんでいる人がたくさんいるとわかりました。
 自分なりの考えやめざせることはできないけれど、理系問題なら、自分にもできることがあると思います。

※分析表による見取り

上述のワークシートの数値の打ち込み

…道徳的諸様相(道徳的判断力・心情・実践意欲と態度)のうち
 顕著な成長(変化)が見られたもの(授業)を判定

↓
 該当の「振り返り表」や「ワークシート(中心発問)」から「肯定的な姿」「成長がよく表れた部分」をピックアップする。
 →記述式評価文の作成へ

〈分析表の活用〉

授業において、顕著な成長(変化)が見られた項目を判定!

◇年度末の評価文の作成のために…

「大きくくり」+「具体的な様子(評価材料の蓄積)」→【道徳授業の評価文】

・校内で共通理解を図るための手だて

①記述式評価研修について

本校では、昨年より評価文作成にむけた研修を実施している。8月に実施された研修内容について紹介する(学年団によるワークショップ型研修の実践【KPT法】)。

◇評価評定研修…日程(8月23日)

- 13:00 ~ 13:50 (50分) 1学期の振り返り
 「教科書」
 「共通ワークシート」
- 13:50 ~ 14:00 (10分) 休憩
- 14:05 ~ 14:50 (50分) 「記述式評価文」の作成
 校長先生より

「共通ワークシート・教科書」を使用して(各学年)

実物投影機を使用した「記述式評価文の発表」

